

入札本

PERFECT BOOK

入札市場・完全攻略本

入札市場の

魅力を大公開

入札をまだ知らないあなたへ、

入札でさらなる売上拡大

入札情報速報サービス

MSS

エヌジェス

# 01

はじめに

入札市場の魅力	02
---------	----

# 02

入札  
マーケット  
とは

1 入札市場の規模感	04
2 入札案件の種類	07
3 中小企業に落札のチャンスがある	08
4 中小企業も受注しやすい環境	10
5 安定した案件数	11
6 入札の経験年数と落札の関係	13
7 年間約200万件の入札案件数・ 1件あたり平均約1,300万円	14

# 03

入札市場  
の魅力

入札市場の魅力・まとめ	16
-------------	----

# 04

落札まで  
の流れ

1 落札までの流れ・総論	18
2 資格取得のポイント	19
3 資格は何を取得するべきか？	20
4 入札参加資格の種類	22
5 資格を取れる企業・取れない企業	24
6 情報収集	27
7 説明会	29

# 01 はじめに 入札市場の魅力

新規参入で  
落札可能

多くの企業  
が参加可能

巨大な  
市場規模

**落札 = 新規開拓**

中小企業に  
追い風

豊富な案件量

絶大な  
信頼性

## 入札とは？

入札のそもそもの意味は、売買や請負において契約を得るために一番安い金額や有利と思われる条件を申し出ることです。一般的に「入札」というと、国や自治体、官公庁が物品を購入したり、サービスを導入したり、工事を行う際に、民間企業に協力を求めて事業を委託する仕組みを指します。

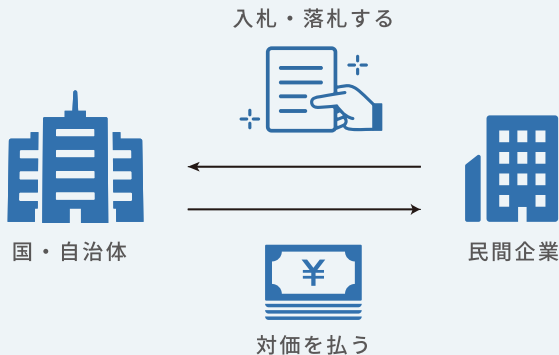
つまり、民間企業が国や自治体、官公庁などから仕事を受注するための手続きが「入札」なのです。

国の入札は、会計法、予算決算及び会計令が制度の大枠を制定しており、各地方の公共団体については、国の定めにならう形で、制度の大枠が決まっています。

入札は大きく「一般競争入札」「随意契約」「指名競争入札」の3つに分類されます。

### 入札とは様々な機関の課題を

#### 企業が一定の条件下で請け負い、解決する仕組み



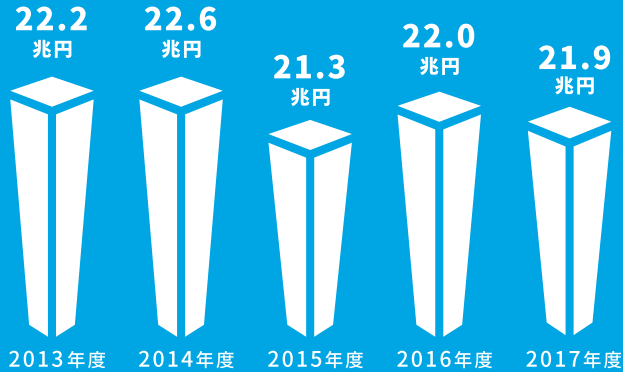
# 02/1 入札市場の規模感

入札マーケットとは

## 1案件平均約 1,300万円

※NJSSデータより

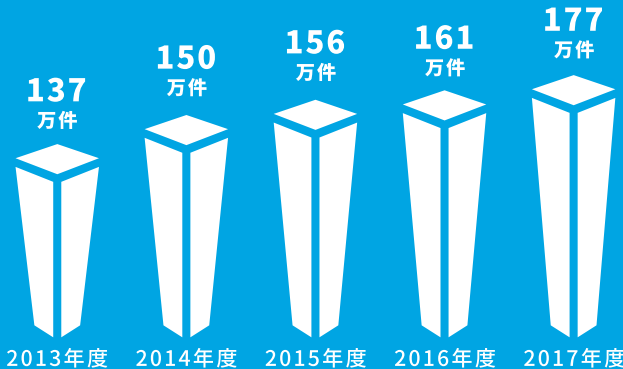
年間  
20兆円  
以上



■ 入札マーケット (金額)

※中小企業庁『官公需契約の手引』  
(平成29年度版)

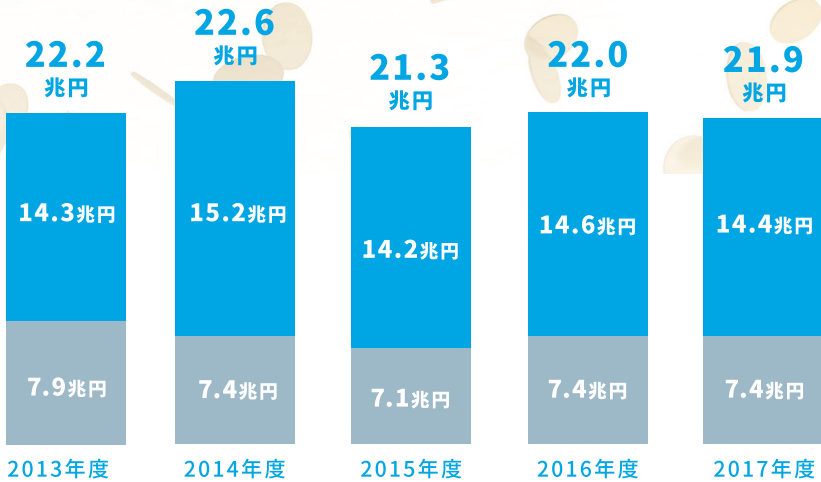
年間  
150万件  
以上



■ 入札マーケット (件数)

※NJSSデータより

# 年間 **20兆円** を超える 安定的な市場



■ 入札マーケット (金額) ■ 地方自治体 ■ 国

※中小企業庁『官公需契約の手引』  
(平成30年度版)

毎年入札で成果\*を上げている企業

47,309 社



※ NJSS データより

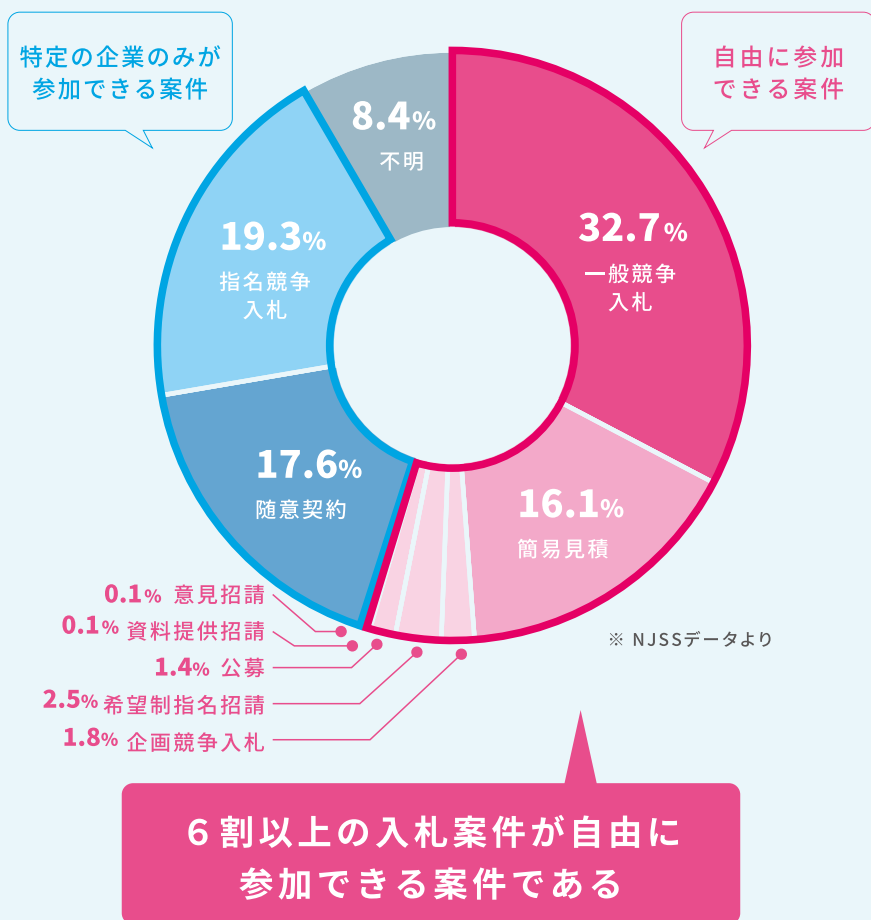
※ 2013-2015 年度に「毎年500 万円以上」の落札実績あり

きちんと入札市場を攻略すれば、  
成果が上げられます



# 02/2 入札マーケットとは 入札案件の種類

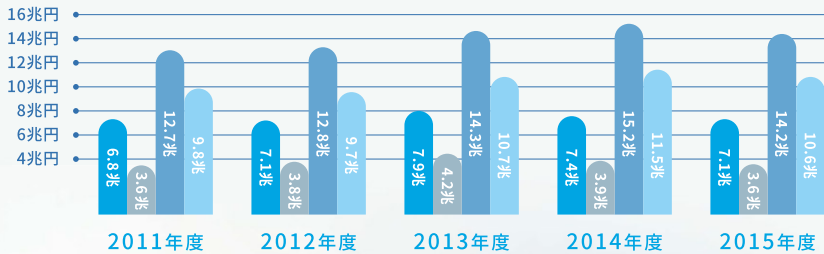
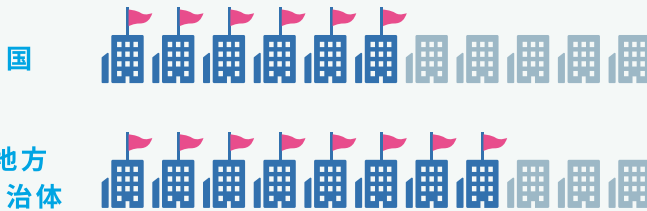
入札案件には種類があり、  
自由に参加できる案件とそうでない案件があります





# 02/3 入札マーケットとは 中小企業に落札のチャンスがある

国では約6割、自治体では約7割が  
中小企業の落札実績である

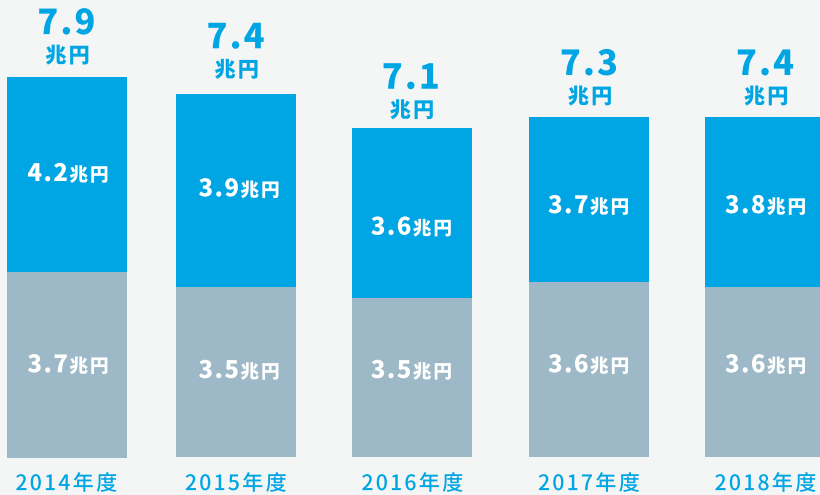


■ 入札マーケット（金額）

■ 国全体の実績      ■ 国の中小企業の実績  
■ 自治体全体の実績      ■ 自治体の中小企業の実績

※ 中小企業庁『官公需契約の手引』（2017年5月現在）

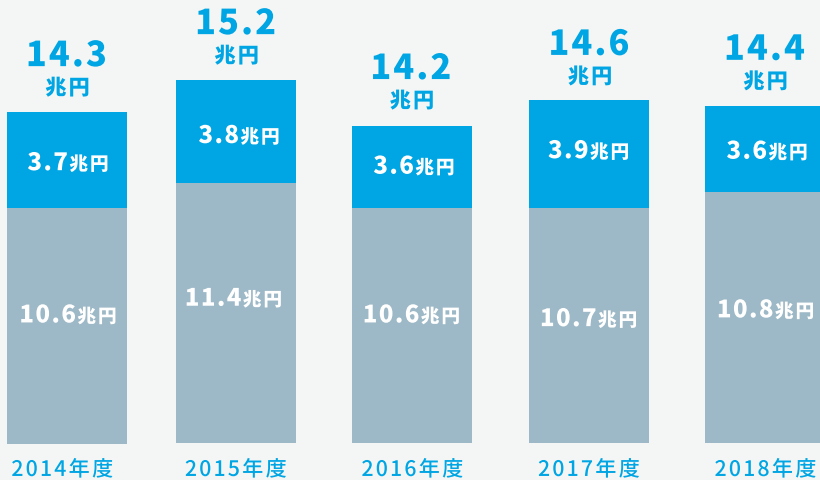




■ 国の入札マーケット (金額)

■ 中小企業以外の実績 ■ 中小企業の実績

※中小企業庁『官公需契約の手引』



■ 自治体の入札マーケット (金額)

■ 中小企業以外の実績 ■ 中小企業の実績

※中小企業庁『官公需契約の手引』

# 02 / 4 入札マーケットとは 中小企業も受注しやすい環境

## 官公需法という法律により、 中小企業が受注しやすい環境となった

“

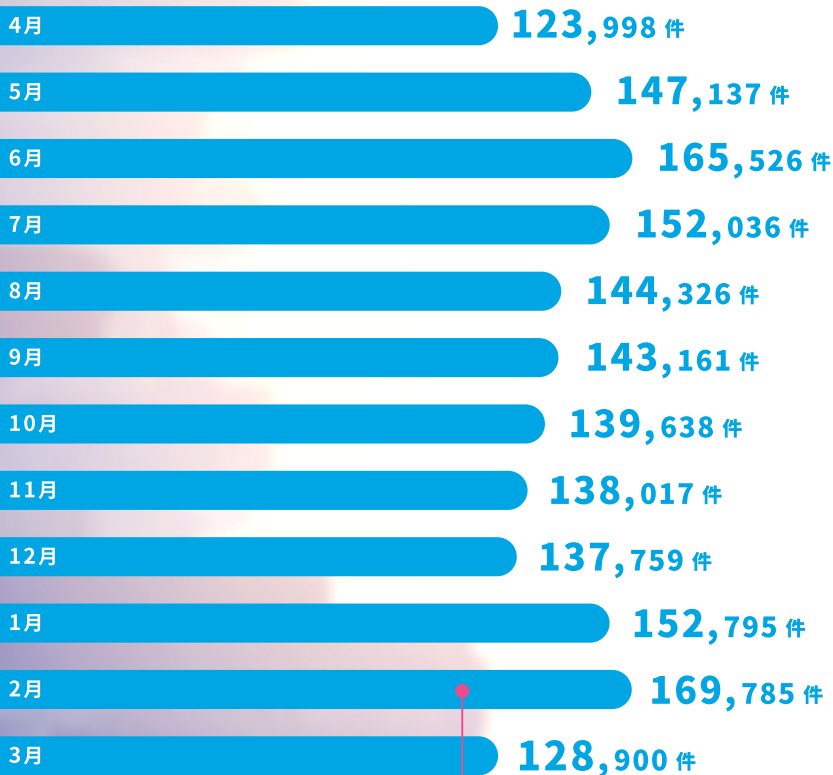
- 1. 東日本大震災の被災地域等の中小企業・小規模事業者に対する配慮**  
⇒東日本大震災の被災地域等の中小企業・小規模事業者の早期の復旧・復興を支援する
- 2. 熊本地震の被災地域の中小企業・小規模事業者に対する配慮**  
⇒熊本地震の被災地域の中小企業・小規模事業者の早期の復旧・復興を支援する
- 3. 官公需情報の提供の徹底**  
⇒透明性の向上と公正な競争確保のため、ホームページでの入札情報の公開を徹底する
- 4. 中小企業・小規模事業者が受注し易い発注とする工夫**  
⇒適正な納期条件の提示や、手続きの簡素化などを踏まえて案件を発注するようにする
- 5. 中小企業・小規模事業者の特性を踏まえた配慮**  
⇒実績だけではなく、技術力や企画力などを踏まえた受注の拡大を増やす
- 6. ダumping防止対策、消費税の円滑かつ適正な転嫁等の推進**  
⇒適正価格での契約や、価格と品質が総合的に優れた入札案件を推進する
- 7. 地方公共団体への協力依頼**  
⇒地方公共団体にも同じように中小企業・小規模事業者の受注機会の増大に努めるように要請する

※中小企業庁『平成30年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針』

”

# 02/5 入札マーケットとは 安定した案件数

入札市場には1年間を通じて  
十分な案件数がある



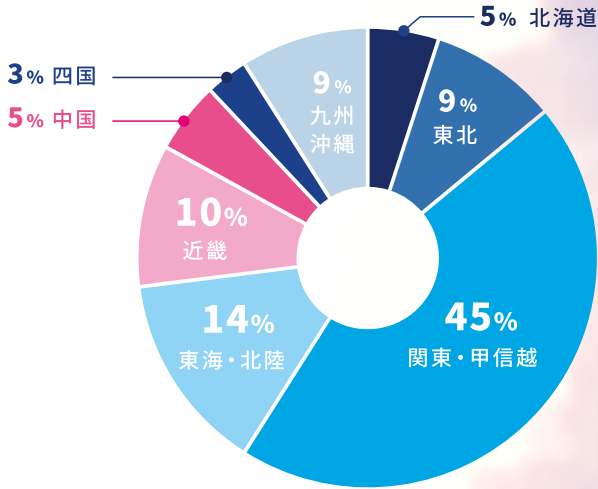
※2017年度入札件数弊社調べ

多少波があり、  
年度末に多くなる

## 地域別でも、十分な金額と案件数がある

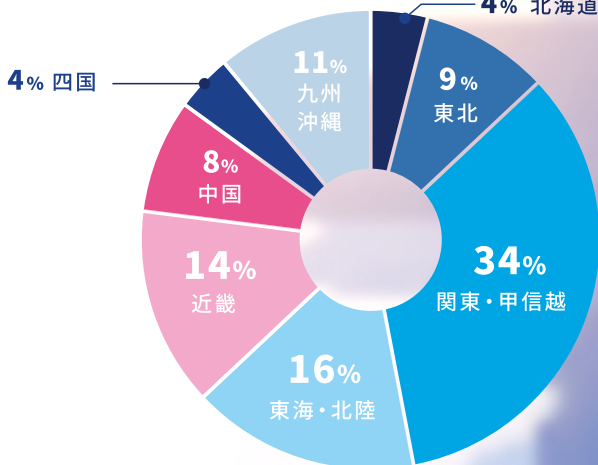
### 地域別入札マーケット金額の割合

※ 2017年度 NJSSデータより



### 地域別入札マーケット案件数の割合

※ 2017年度 NJSSデータより

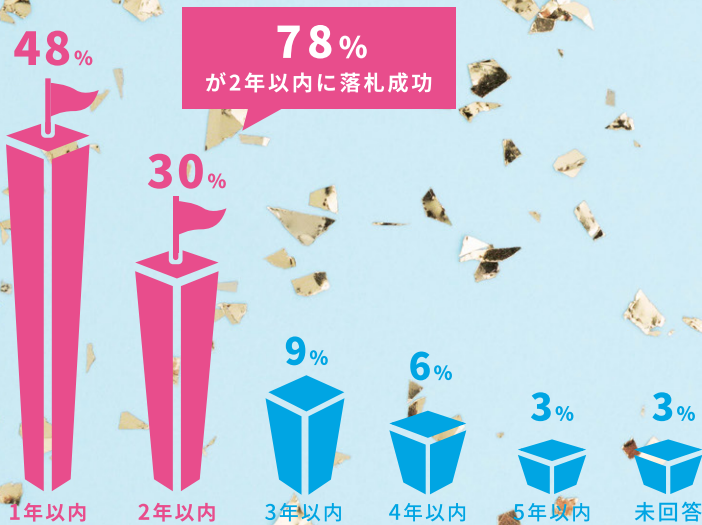


# 02/6

入札マーケットとは 入札マーケットとは

## 入札の経験年数と落札の関係

入札実績のない企業でも  
1年以内に**5割**、  
2年以内に**8割**が成果を出してる



創業5年以内の企業における、入札参加から初回落札までの期間に関するアンケートの結果（件数）

※ 2017年度 NJSS顧客アンケートより

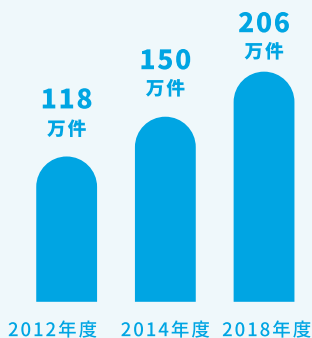
# 02/7 入札マーケットとは

## 年間約200万件の入札案件数・ 1案件あたり平均約1,300万円

### 入札市場は案件数が豊富な巨大マーケット！

入札の市場は巨大です。「2012年度入札情報統計レポート※1」では、公示案件数は年間で100万件以上あることが集計されました。復興事業予算の増枠、公共事業負担軽減のための交付金発行が閣議決定された事などから、案件数は増加しており、2014年度時点では150万件を越えています。さらに、2018年度には200万件を超える市場に成長しました。

### 日本入札マーケット全体件数



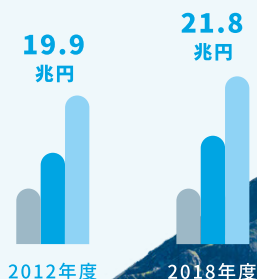
※中小企業庁資料及び2018年度NJSSデータより

### 市場の金額は20兆円を突破！ 今後も成長が期待される

入札市場は、金額規模でも右肩上がり成長を続けており、2018年度(H30年度)では約22兆円の大きさとなっています。約22兆円といえば、国内の外食産業市場とほぼ同じ市場規模です。また、「入札」と聞くと建設関連などの大型案件をイメージされるところですが、実は土木・建設は全体の3割程度しかありません。

### 日本入札マーケット全体金額

■ 地方自治体 ■ 国  
■ 国+地方自治体



※中小企業庁資料及び2018年度NJSSデータベースより抽出

## 新規参入企業や中小企業にも、落札のチャンスは多くある！

日々、多くの官公庁から多くの入札案件の公募がありますが、それらの入札案件は、「随意契約」、「指名競争入札」、「一般競争入札」の3つに大別されます。特に、新規参入企業がオープンに応募することができる「一般競争入札」は年々その割合を伸ばしており、近年では約 65% 近くを占めるようになってきています。

今後も、政府の契約は競争入札が原則であると観点から随意契約の見直しを進めており（随意契約見直し計画）、自由参加の入札案件へと切り替えが広がっていくことから、参入し易い市場と言えるでしょう。





# 03 入札の魅力

## 入札市場の魅力・まとめ

1

常に案件が豊富にあり、新規営業開拓よりも効率的

2

新規参入しても、短期間で成果を出すことができる市場

3

大手企業とも、公平な制度の中で競争できる

4

官公庁・自治体との取引でブランド力と信頼度UPにつながる

5

与信の心配がなく支払いの滞納が無い

7

対応できる案件が多い全省庁統一資格は簡単に取得できる

6

1件あたりの落札金額が大きく売上UPに直結

## 会社規模関係無く、 季節変動の少ない 巨大なマーケットである



- ◎ 入札は20兆円を超える巨大マーケット
- ◎ 季節やエリアにかかわらず豊富な案件数
- ◎ 企業規模や入札経験にかかわらず公平な競争

**+α**

官公庁・自治体が  
取引先なので  
支払いの滞納が無い

**+α**

官公庁・自治体との取引で  
ブランド力と  
信頼度UPにつながる



# 04/1 落札までの流れ・総論

落札までの流れ

## 一般的な流れ

### 資格取得

対象機関の資格を取得（2～4週間程度で取得可能）

### 情報収集

発注機関のWEB サイト・官報などを日々チェックし、案件を探す

POINT



### 説明会参加 仕様書取得

説明会へ参加、仕様書の受け取りに発注機関まで出向く

### 入札

仕様書を元に、見積り・企画書等を作成し、応札する

### 落札

応札会社すべての見積り・企画書などを精査し、受注業者を選定する

# 04/2 資格取得のポイント

落札までの流れ

💡 入札参加には資格が必要

💡 資格は予め取得しておく  
※いつでも受け付けていないので注意！

💡 自治体や外郭団体の資格は対応エリア  
に応じて取得しておく

💡 対応エリアが広がる場合は  
優先順位をつける

💡 全省庁統一資格は取得必須！

# 04/3

落札までの流れ

## 資格は何を取得すべきか？

### 物品役務系は 「全省庁統一資格」 から取得するべき

**資格審査結果通知書(全省庁統一資格)**

平成28年4月1日  
135-0000  
東京都江東区東陽OT目O番地O号東陽ビル  
株式会社資格技術  
代表取締役  
資格 次郎 様  
160401XXXX23

業者コード: 000016000X 法人番号: 012345678900X 発行番号: 160401XXXX23  
企業規模: 中小企業 設立年月日: 平成18年4月1日  
資格の種類及び等級

資格の種類	物品の製造	物品の加工・改良・改修等	物品の買受け
付与数値合計	56	62	62
等	C	C	C
級			B

資格の有効期間: 平成28年4月1日 から 平成31年3月31日 まで  
 競争参加地域(※印の地域について有効)

北海道	東北	関東・甲信越	東海・北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
		*	*	*			

見 本

営業項目	物品の製造	物品の販売	役務の提供等	物品の
その他印刷類 電子計算機類	その他印刷類 電子計算機類	情報処理 ソフトウェア開発	その他	その他

外務省大臣官房会計課長印  
 財務省大臣官房会計課長印  
 文部科学省大臣官房会計課長印  
 厚生労働省大臣官房会計課長印  
 農林水産省大臣官房参事官(経理)印  
 経済産業省大臣官房会計課長印  
 国土交通省大臣官房会計課長印  
 環境省大臣官房会計課長印  
 防衛省大臣官房会計課長印

本通知書は、一般競争(指名競争)入札の際、当該競争機関から提示を求められる場合がありますので、大切に保管してください。  
 なお、申請書類に故意に虚偽の事実を記載した者等については、本資格を取り消す場合があります。  
 本通知書受領後に申請内容に変更があった場合は、いずれかの受付機関に速やかに届けてください。

受付機関: 14XXXX 受付番号: 00103

## なぜ『全省庁統一資格』か？ 物品役務系の最強の万能資格だから

全省庁統一資格

見本

“統一資格”というだけあり、  
「国」の発注機関は全て参加が可能  
「外郭団体」も参加可能



経済産業省



厚生労働省



文部科学省



高齢・障害・求職者雇用支援機構



理化学研究所



国際協力機構 (JICA)



日本私立学校振興・共済事業団



日本郵政グループ



労働者健康安全機構



日本政策金融公庫(JFC)



物質・材料研究機構(NIMS)



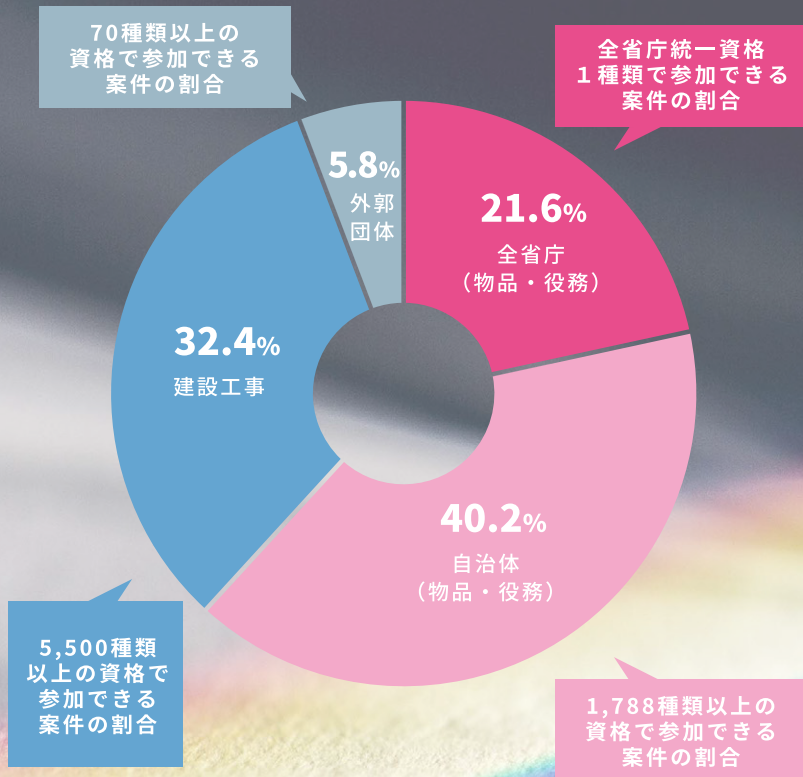
農業・食品産業技術総合研究機構 (NARO)



宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

# 04/4 入札参加資格の種類

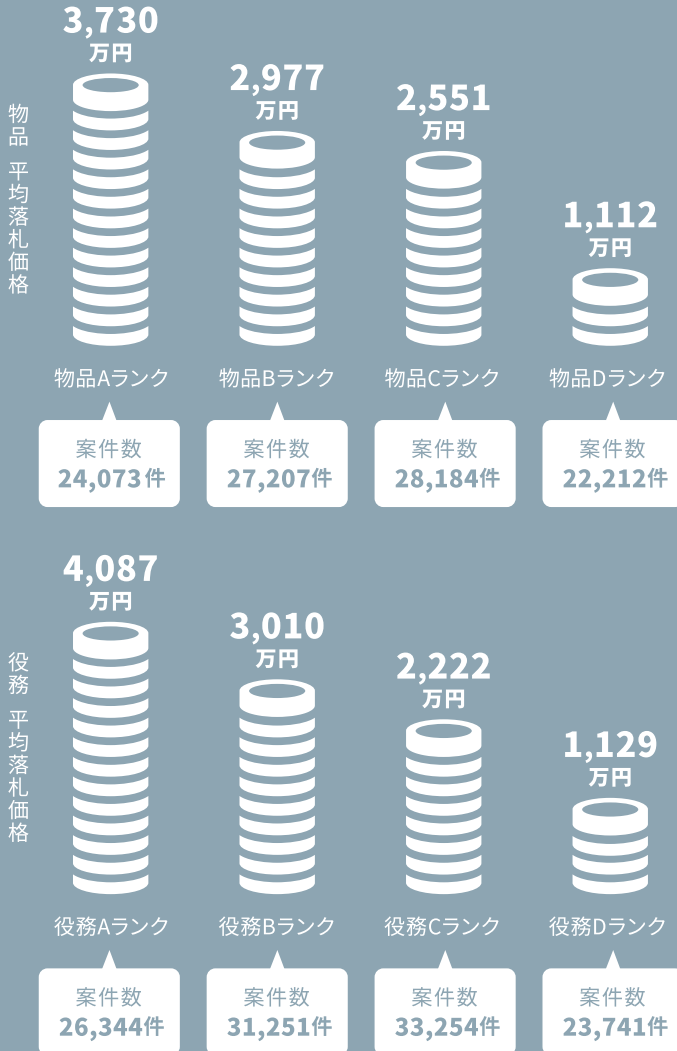
落札までの流れ



案件内容	総案件数	必要資格数	1資格で参加できる 平均案件数
全省庁 (物品・役務)	327,794 件	<b>1 種類</b>	<b>327,794 件</b>
自治体 (物品・役務)	610,122 件	1,788 種類以上	343 件
建設工事	491,028 件	5,500 種類以上	89 件
外郭団体	88,419 件	70 種類以上	1,263 件

## ■ ランク別平均落札金額（全省庁統一資格）

会社の規模等により、A～Dランクに分けられる



C, Dランクの件数も  
A, Bランクと同等の件数がある！



# 04/5

落札までの流れ

## 資格を取れる企業・取れない企業

### Q1

個人事業主で、法人ではない  
ですが取得できますか？

できます！

### Q2

経営が不安定で、赤字の企業  
ですが取得できますか？

できます！

### Q3

新規ビジネスで、売上「0円」  
ですが取得できますか？

できます！



## Q4

海外本社で、日本法人ですが  
取得できますか？

できます！

## Q5

設立したばかりで、まだ決算前  
ですが取得できますか？

できます！

## Q6

支店・拠点のないエリアの自治体  
ですが、取得できますか？

できます！

## Q7

税金未納です。でも近々収める  
予定です。取得できますか？

条件付きで...  
できます！

## NG

下記のケースは資格の取得が「認められません」

- ・ 反社会的勢力と認められる場合
- ・ 破産して復権していない場合
- ・ 税金未納を継続している場合



# 04/6 落札までの流れ 情報収集

## 環境省の場合



入札情報は官報・掲示板・WEBサイトに開示される

## 厚生労働省の場合



入札情報はWEBサイトでチェックするのが便利です。  
 ただ、必ずしも分かりやすい場所にあるとは限りません。



調達情報



事業向け情報

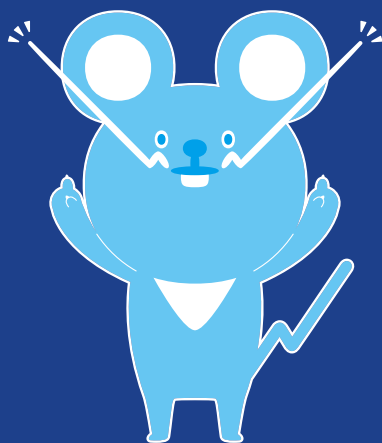
# 04/7

落札までの流れ

## 説明会

- 1 期日までに指定場所に行く
- 2 説明会に参加しないと入札に参加できない場合もある
- 3 仕様書配布だけの場合もあるが、行かないともらえない
- 4 どんな会社が参加しているかウォッチ
- 5 最後の方に受付をし、参加者リストをチェック

国・自治体の仕事で  
売上拡大を!



入札情報連絡サービス



株式会社うるる

NJSS事業部 マーケティング課  
<https://www.njss.info/>

〒104-0053 東京都中央区晴海3-12-1 KDX晴海ビル9 | TEL:03-6225-0855